

平成29年度山武健康福祉センター運営協議会 質疑応答要旨

質問1

(A委員)

事業年報の83ページ、母子・父子・寡婦福祉資金の修学資金について、平成26年度が28件、27年度が21件、28年度となると8件と激減しているが、これはどのような要因があるのか。

(地域保健福祉課長)

新規の貸付の場合、事前相談を行っており、貸付制度を説明するほかに貸付以外の方法を一緒に考えています。返還することなく使える他の奨学金制度などを選択できることもあり、又、特に高校進学の貸付につきましては、公立高校の授業料の無償化等、高等学校等就学支援金制度により公立高校の入学生の貸付が減っているという状況です。

質問2

(A委員)

事業年報の119ページのエイズ対策事業で、各高校に講演会を実施しているようであるが、この前提となっていることを教えていただきたい。例えば、生徒さんが性の経験がある前提で講演しているのかどうか。差し障りがなければ、教えていただきたい。

(地域保健福祉課長)

全国調査では、初交年齢・いわゆる初めて性交渉する年齢が、12歳くらい、小学生まで下がってきている状況にあると言われております。

これは、全員ということではなく、その年齢層も、経験者がいるということです。また、雑誌や漫画の本には、過激な内容・描写もあり、それを子どもたちは目にすることも多いので、安易に性交渉するのではなく、まず自分を守る・命を守るということ、自分を大切にし、これからの人生を生きていくことも併せて教育、普及しています。

(B委員)

エイズ予防というのは、感染しないようにどうやって予防していくのか、その対策を教えるということだと思う。

実際に子宮頸がんの予防接種を中学生が行っている。我々の立場から言えば、いかに移らないようにするのかということを具体的に教えてほしい。

質問 3

(C 委員)

子どもの貧困対策として、ボランティアの方々が子ども食堂をやっている。これがどのような施設に該当するのか。例えば、給食施設になるのか。食事を提供する店舗と同じような扱いになるのか。有料・無料で取扱いが違ってくるのか教えていただきたい。

(健康生活支援課長)

子ども食堂については、個別に確認して判断するとなっていますので、管内で、もしそのような事例がありましたら御相談ください。

給食施設には該当しませんが、営業として行うのであれば許可対象になりますし、無料の場合でも、それが反復・継続されるようであれば、許可対象になる可能性がありますので、やはり個別に判断ということになります。

(議長)

そういう情報が入ったときには、確認をしていただいて、それで必要があれば、指導するという受け止め方でよろしいか。

(健康生活支援課長)

そうです。そのようにさせていただきたいと思いますので、情報提供をよろしくお願いします。

質問 4

(議長)

セアカゴケグモが 3 年連続東金市内で確認されているが、日本中いたるところにいてもおかしくないという状況と思われる。説明の中で血清の話があったが、クモに咬まれたときにどこの病院に行けばよいのか。

(健康生活支援課)

一般的には、対症療法だけでセアカゴケグモの治療は完了するものですが、重症化してしまう例もごくまれにあり、その際に抗毒素血清が必要になります。いずれにしても、医師の判断となりますので、医療機関にかかっただき、医師が抗毒素血清の投与がどうしても必要と判断したら、保健所に連絡いただくことになります。

(B 委員)

抗毒素血清が必要と判断した場合、時間的な制限はどのくらいか。

(健康生活支援課)

「抗毒素血清は、早ければ早い方が良い」と言われてはいますが、具体的にどのくらいの時間がタイムリミットか[※]確認しておきます。

※ 咬傷による症状、特に疼痛の緩和に有効であり、咬傷後 10 日までの症状を改善可能であるという報告がある。

(B委員)

説明のあった手続きを見ると、何段階も必要である。投与するまでのタイムリミットに間に合うのかどうか重要である。

(D委員)

今の件に関して、保健所が開いている昼間ならいいが、夜などは対応できるのか。

また、抗毒素血清の保管、医療機関はどこにあるのか。

(健康生活支援課長)

香川大学が、血清の保管の代表になっており、県本庁が調整します。

最終的に、抗毒素血清保管医療機関に連絡することになります。

(議長)

お正月や連休のときなど、直接どこに連絡すればよいのか医療機関に教えてほしい。

(センター長)

保健所に連絡していただければ、お正月などの休日や夜間であっても、24時間365日、電話で連絡つくような体制になっておりますのでよろしくお願いします。

(議長)

インターネットで、毒ぐもは一種類でなく四・五種類いるとあったが、それらも同じような症例が可能性としてでるということか。

(健康生活支援課)

セアカゴケグモの仲間のハイイロゴケグモは、同じ毒性を持っており、ほぼ同じような症状がでます。カバキコマチグモは、セアカゴケグモに比べて毒性が弱く、死亡例は一件也没有。

質問5

(E委員)

事業年報35ページの災害時実働マニュアルですが、山武地域は成田空港の近隣にあり、航空機が墜落した場合、保健所の実働マニュアルはどのようなになっているか。

(事務次長)

災害時の実働マニュアルは、現在、地震・風水害の実働マニュアルとして作っておりますが、航空事故については含まれておりません。